

清流の国ぎふ花き振興計画 骨子 (案)

(第2期)

R3~R7



清流の国ぎふ花き振興計画（第2期）

策定経緯

- 平成26年6月27日 花きの振興に関する法律公布（平成26年12月1日施行）
平成26年10月15日 岐阜県の花きの振興に関する条例公布（同日施行）
平成27年11月17日 清流の国ぎふ花き振興計画（第1期）策定

目的

「岐阜県花きの振興に関する条例」の理念を具現化

基本目標

花で彩り心豊かな暮らしを育む「清流の国ぎふ」づくり

目指す姿

- 花き産業界と異業種業界が一体となったコンソーシアム構築による花きの魅力発信と新たな需要創出
- アフターコロナ(Withコロナ)時代を見据えた花の活用促進
- SDGsが目指す未来志向の社会における花と緑のまちづくり

計画期間

令和3年度から令和7年度（5年間）

推進施策

- 〔5本柱〕
- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1. 花き文化の振興 | 2. 園芸福祉の推進 | 3. 花育の推進 |
| 4. 花き産業の振興 | 5. 花きの活用促進 | |



清流の国ぎふ花き振興計画 施策の推進 (案)

1

花き文化の振興

ねらい

- 現代のライフスタイルや住宅事情に合わせた花の楽しみ方の提案による花き文化の普及
- 花に親しむ機会の少ない若年層に向けた、スポーツ感覚で花を楽しめるような新たな花き文化の創出
- 花や緑の効果効用（癒し、リラックス、疲労回復、空気清浄効果）の普及による日常生活への定着

施策

1 花き文化の伝承・継承

○花の活用促進に向けた地域活動の展開

- ・フラワーフェスティバルやコンテスト等の開催による花き文化団体の活動PRや地域活動による普及
- ・国際園芸アカデミーによる自治体等との連携による花と緑のまちづくり提案

○ライフスタイルに合わせた花飾りの提案

- ・住宅メーカーとの連携による現代のライフスタイルに合った花の楽しみ方の提案
- ・コロナ禍におけるリモートを活用した花飾り体験教室等の開催

2 新たな花き文化の創造

○若年層を中心とした新たな花き文化の創出

- ・新たな花文化である花いけバトルの開催
- ・商業施設とコラボした生活に身近な衣料・食料・雑貨売場等での花飾りの提案

3 花きの効果効用の普及

○花の効果効用を活用した花のある暮らしの提案

- ・住宅展示場やオフィス、県庁舎等での体感型のモデル展示の実施
- ・県有施設(所管施設)における花飾りの推進

目標

癒しの空間づくりに取組んだ
企業数（5年間）

100社

園芸福祉の推進

ねらい

- 活動の普及・拡大に向け、若者の提案による園芸福祉活動の新たな展開
- 園芸福祉サポーターと施設や地域とのマッチング支援や住民参加の活動拡大支援による高齢者の活躍の場づくり

施策

1 若年層への活動の普及・拡大

○福祉系大学等と連携した新たな園芸福祉の展開

- ・臨床医学や栄養学を学ぶ学生が、学生目線での園芸福祉を活用した地域活動の展開を支援
- ・学生の魅力ある活動の掘り起しと若い世代の活躍の促進

2 活動地域・施設の拡大

○活動地域・施設のマッチングによる高齢者の活躍の場づくり

- ・新たな活動施設の新規掘り起こし
- ・地域活動への参画支援による高齢者の生きがいづくり・活躍の場づくりを推進

○園芸福祉を支える人材育成

- ・花フェスタ記念公園を中心に園芸福祉サポーター養成講座を開講し、新たなサポーターの育成を推進

○コロナ禍に対応したリモートによる活動展開

- ・コロナ禍におけるオンラインによる園芸福祉サポーター養成講座の実施

目標

園芸福祉活動の参加者数（5年間）	1,000人
園芸福祉サポーター数（R7）	500人



3

花育の推進

ね
ら
い

- 家族で楽しめる花飾りの提案による地域や家庭での花を飾る習慣の普及・定着
- 花や緑が持つ癒しやストレス緩和効果を活用した新たな花きの活用方法の提案
- 小中学生への花や緑に親しみ、育てる機会の提供により、子供の感性を豊かにし、花の管理や生態への探求心を醸成
- 花や緑を介した世代間交流や地域コミュニティの構築

施策

1 家庭での花飾りの推進

○家族で楽しめる花飾りの提案

- ・小中学校で花育授業を受け、家庭でも実践する生徒を花育先生として認定
- ・家族で楽しむ花飾りのコンテストを開催
- ・花の効果効用を活用した花のある暮らしの提案(再掲)
- ・住宅展示場等での花の効果効用の体感型のモデル展示の実施(再掲)

2 小中学校での花育の推進

○小中学校における花や緑に親しむ機会の創出

- ・コロナ禍におけるオンラインも活用した花き文化団体による学校への出前教室の実施

3 地域における花育の推進

○地域コミュニティにおける花育の普及

- ・市町村イベントを活用した花育教室の実施
- ・花分野以外のイベント等での花育教室開催による無関心層へのアプローチ
- ・花文化団体等が中心となって行う市町村や自治会と連携した花壇づくり・花と緑のまちづくり活動の推進
- ・ボランティア(ロードプレーヤー)による道路沿いにおける花飾りの支援

目 標

地域と連携した花育教室
の参加者数（5年間）

10,000人



- AIやIoTを活用した勘や経験に頼らない適時適切な栽培管理の実施や地球温暖化に対応した品種導入、災害に強い施設への高度化による高品質安定生産の実現
- ぎふオンリーワン品種の育成によるブランド化の確立
- 多様なニーズに応じたマーケットインの商品づくりによる売れるモノづくりの推進
- 輸出先国のニーズ把握や海外実需者とのマッチング支援による海外販路の開拓
- 現場で活躍する花き業界を支える意欲と能力のある人材の育成

施策

1 高品質・安定生産の推進

- (仮称)花と緑の振興センターを中核とした花き産業振興
 - ・ 花き産業の担い手育成と他産業との連携を促進
- 栽培技術の高度化と栽培管理の省力化
 - ・ AIを活用した出荷予測・開花調節技術の開発
 - ・ IoTを活用してハウス内環境を管理し省力化を推進
- 地球温暖化に対応した技術開発
 - ・ 環境モニタリングし最適な栽培管理技術の確立
 - ・ 耐暑性、耐病性を持った品種導入の検討
- 災害に強い施設・設備への高度化
 - ・ ハウスの補強等の被害防止対策の推進

2 花き品種等の研究開発の促進

- 岐阜県のオンリーワン品種の育成
 - ・ 業界のトレンドに応じたオリジナル品種の育成
 - ・ ネイティブフラワー等国内営利生産されていない品目・品種の選定と栽培技術の確立
- 花の利活用拡大に向けた研究促進
 - ・ 花の機能性成分を活用した新たな利用技術の開発
 - ・ 食べる花としての研究・開発促進

3 流通・販売体制の強化

- マーケットインの商品開発（コンソーシアム）
 - ・ 花き業界と異業種が一体となったコンソーシアムによる商品づくり
- SNS等を活用したマーケティング
 - ・ SNSを活用した県産花きPRやマーケットの構築

施策

○with コロナ時代にも対応した販売体制の整備

- ・ネット販売など新たな販売チャンネルづくり

○海外への情報発信と輸出拡大

- ・海外輸出に意欲的な生産者に対し輸出拡大に向けたプロモーションの支援
- ・オンラインを活用する等、海外バイヤーを通じた輸出先国のニーズやトレンド把握に応じた商品づくりの推進

4 園芸を支える多様な人材の育成

○花き業界を支える中核的担い手の育成

- ・技術及び経営能力向上のための担い手育成支援施設設置
- ・商品管理・発注へのスマート技術の導入による経営力強化

○園芸業界にはばたく人材の育成

- ・国際園芸アカデミーの教育の充実
教育カリキュラムとアカデミー校内の学習環境の整備
花フェスタ記念公園でのサテライト施設の整備
市町村や企業等と連携した校外フィールドの充実
オンラインによる遠隔授業のためのICT環境の整備推進

目標

花き産出額（令和7年）	70億円
花き種苗登録(出願)数（5年間）	7品種
マーケットイン商品開発（5年間）	10商品
花きの輸出額（令和7年）	1億円
国際園芸アカデミー 連携協定締結先との取組数（5年間） ※花フェスタ記念公園の実習フィールドでの取組 も含む	200取組



5

花きの活用促進

ね
ら
い

- 業界の壁を越えた異業種業界との連携による地域資源を活用した花きの需要開拓
- 美濃焼や升等といった地場産業と連携した商品づくりの展開
- 花と緑を活用した魅力的なまちづくりや暮らしの提案等による花きの需要拡大

施策

1 地域資源を活用した花きの需要拡大

○(仮称)花と緑の振興コンソーシアムを中核とした需要促進

- ・業界の壁を越えた連携により花きの需要を促進

○観光地や玄関口となる駅での花きの魅力発信

- ・観光イベントや観光地における花飾りの推進
- ・花きを活用したイベント等の提案
- ・SNS等を活用した花きの観光スポット、見ごろ情報の発信

○美濃焼や美濃和紙等とコラボした商品づくり

- ・美濃焼や升等とのコラボ商品の開発
- ・美濃和紙のラッピングや鉢カバーとしての活用提案
- ・県産花きを使った押し花和紙作りの体験教室の開催

2 日常生活における花きの活用促進

○花と緑を活用した魅力的なまちづくり

- ・生産者と造園業界等との連携による屋内・屋上・壁面緑化の推進
- ・花と緑を活用した癒しと集客力の高い公園整備の推進
- ・国際園芸アカデミーと連携協定を締結した市町村への学生による花と緑のまちづくり提案
- ・園芸福祉活動等による福祉施設等への花飾りの推進

○花のある暮らしの提案による活用促進

- ・住宅メーカーと連携した花のある暮らしの提案

目 標

コンソーシアムにおける連携
開発事例（5年間）

20事例